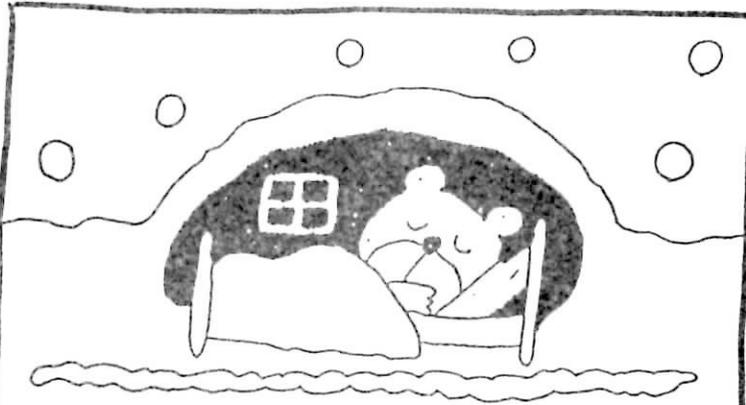


— H S K — なんれん

# おとふけ

NO.22

昭和48年1月13日創刊  
HSK通算第275号  
1995年2月10日  
毎月10日発行(1部100円)  
(会費に含まれています)  
〒100 日本国法人北海道民生活支援部  
発行 北海道身体障害者団体  
定例刊行物協会(HSK)



高齢者の医療と福祉に関する講演及相談会

兵庫県南部地震による災害救護募金のお源い

JPC総会 国会請願行動に参加して

お2回どんぐりまつり開催す

お4回クリスマスパーティ開催す

高齢者の医療と福祉に関する講演及び  
相談会のご案内

主催 (財)北海道難病連音更支部

日時 1995年2月19日(日)  
13時30分～16時 (13時より受付)

会場 音更町保健センター集会室

参加費 無料

参加対象 難病患者、家族、一般町民

講師 北斗病院 医療社会福祉科  
科長 高田康範氏 (医療ソーシャルワーカー)

相談員 老人保健施設 アニティ帯広 医療ソーシャルワーカー  
芦野健一氏

○ 難病に関する相談も受けます

問い合わせ先 難病連音更支部事務局  
TEL.

## 北海道難病連加盟各団体

および支部役員各位

1995年1月21日  
財団法人北海道難病連  
代表理事 三森 礼子

### 兵庫県南部地震による災害救護募金のお願い

兵庫県南部地震による災害救護募金をJPC（日本患者家族団体協議会）が別紙の通り独自に取り組むことになりました。

北海道南西沖地震時には、全国の患者会や地域難病連から多くの励ましや救護金をいただき、勇気づけられたことは忘れることのできないできごとでした。

今回の災害の最大の被災地である神戸市にも、多くの患者が、そしてそれを気遣う家族がおられ、瓦礫の中で満足のいく援助の手を耐え忍んで待っておられることを考えると心が痛みます。

一日も早い医療や住宅や流通などの復興を心から願わずにいられません。そのためにも、患者と家族の意見や境遇を患者の立場に立って訴えることのできる兵庫県難病連の活動の再開を願っております。

救護金については、可能な限り各部会・支部ごとにまとめ、北海道難病連の郵便口座 [02780-8-19713] へご送金ください。なお、振替用紙に必ず「災害救援」とご記入ください。個人で送金の場合は、上記の条件以外に所属部会支部名も記入するようお願いいたします。また、直接JPCにはご送金されませんようお願い致します。

JPC総会・国会請願行動に参加して(6月)

穀内律雄

冒頭に有意義なJPC総会・国会請願行動に参加させていただいた事に皆さんに感謝し、お礼を申し上げます。今回の参加で非常に勉強になった点と感動したことを書かせていただきます。

最初にJPC総会の件です。参加する事前に議案書に少しは目を通してありましたが、当日の日程表を見た時、これだけの内容を4時間たらずでは本当の審議にはならないだろうと正直思いました。

まして普段、顔の会ったことのない人達が話し合うのですから余計だろうと思っていました。

議案の説明が終り、地域代表の質疑応答に入る中で、意外にもこの短い時間の中で重要な「問を、しかも慣れあいでなく代表幹事に食い下がる姿を見た時、新鮮味を感じました。

内容に少し触れさせてもらいますと

小児慢性特定疾患に関する問題で、18才を越えたら患者を見放すのかと代表幹事に食い下がる姿をして怒られてもやむをえないと答弁する幹事。

その他に3、4人の質問があり、非常に地方から参加した私達には会議の内容等が勉強になり

又 答弁も不可能な事を可能なように答弁するのではなく、常に現実を見て可能な限りの答弁をしているのが印象的でした。

次に国会請願についてふれたいと思います。まず最初に感じたことは、請願書は数だけと云う事です。いかに上手に議員にお願ひしても裏付けの数がなければ力にならないと云うことです。

たとえば「四区の五十嵐広三議員の秘書が請願書を受け取るなり「これだけあれば」と気持ちよく受け取られました。

この事を意味するのは地元でどれだけ関心があるかないかを議員が判断するのではありませんかと云う事です。

常に議員は今、地元では何が行なわれ、何が問題となっているかを見ていると思うからです。

それと請願は内容の濃いものが要求されると云う事です。

ここで伊藤代表幹事と二院クラブの下村泰議員秘書の請願の内容で前文に述べた小児慢性特定疾患についてふれたいと思います。

薬代が異常に高い事、18支を過ぎると自己負担になる事、そして各医師との連携方法をきめ細

かに相談し理解を得る事でした。  
秘書との会話で秘書が医療に関しては党派を越えてやらなければと発言しており、何とも感動し見通しのない訳ではないと少し思った。

又竹村泰子議員、高崎裕子議員にも、この件について党派を越えての協力をお願いしてきました。

本当に勉強になりました

---

---

JPC(日本患者・家族団体協議会)署名カンパにご協力を

---

---

国会への請願の項目は次の通りです

- 1) 難病研究の推進を
- 2) 専門病院の整備を
- 3) 谷間の難病患者のための施策を
- 4) 行き届いた看護を
- 5) 年金制度の充実を
- 6) 患者の拠り所「難病センター」を

3月末日まで署名活動を行なっています  
用紙は事務局にありますのでご協力  
いたいただける方は下記へ連絡をお願いします

TEL・FAX

## 第2回どんぐりまつり開催す

10月2日(日)10時～15時まで。午前中は緑南中学校のパークゴルフ場を借り、支部で初めパークゴルフに挑戦し、終了后どんぐりの家へ移動してジキス汗等食べ、パークゴルフの参加賞景品が配られました。満腹になるとカラオケが始まり、どんぐりの家が壊れそうなパワーの短大生の振り付きカラオケに負けてはいられずと他の参加者の方もはりきって唄っていました。この機会に緑南中学校に申し入れ、生徒の方へボランティアの募集をして頂き、最終的に3年生の男子2人が参加して下さいました。37名の参加者でした。

緑南中学校発行の緑南だよりから掲載させて頂きました

### 音更町難病連



### パークゴルフの集いに参加して

3年 高橋孝幸

3年 下斗米 一 美

僕は最初、下斗米君に誘われて、ボランティアに入ったんですけど、その時の自分は閑人だったので、たまには人助けもいいなと思ってやってみました。

初めの実行委員会で車イスの講習会があり、車イスの押し方や、目にマスクみたいな物をつけて目の不自由な人になりきってご飯を食べたりして、実感しました。

当日は、目の不自由な人と当たり、その人と一緒にパークゴルフをしました。

初めは、話をするきっかけが少なかったけど、だんだん心が通じ合うようになり会話も多くなりました。

このパークゴルフが終わってからは、「どんぐりの家」で、飲み食いをしたり、カラオケで歌ったりして楽しかったです。

このボランティアをやってみて良かったことは、初めて会った人達でもみんなと仲良く出来たのが良かったです。

始めは、暇つぶしという名目で始めたボランティア活動、僕はもともとボランティアは、よほど暇な人間の集まりだと思っていたのでごく軽い気持ちで参加しました。

僕はこの活動に参加して、これが大きな間違いだということに気づいた。

みんな余暇を返上して、身体障害者や難病患者のために努力しているのだということがわかりました。

そして日曜日、僕は車イスを押して介護をしました。

昼から「どんぐりの家」に行き、みんなで昼ご飯を食べました。その時、そこには数十人の人が居たのを見て、こんなに大勢の人がボランティア活動をしているのを知りました。

このボランティア活動で得たものは大きい。それは、活動に対する人々の考え方や回りの人々との触れ合いの大切さを実感することが出来たことです。

僕はこの人々との触れ合いが、この活動に参加してのなによりの報酬であったと思います。

どんぐりまつりの感想が届いています  
佐藤時重

此の度 難病連音更支部主催のどんぐりまつりに出席させて頂きましたが、天も私達に味方してくれまして快晴の秋日和りで、最初は緑南中学校でパークゴルフを生涯で初めてやりましたが、最高に面白く又、良い運動で時間の過ぎるのが速く夢中でやりました。

中にはジャンボ尾崎のような打球を飛ばすMさんと言うボランティアの方、もちろん男性も居りました。私は8ホールで切上げ、どんぐりの家に行き其の内、後の皆様方も集まり屋外でジシキス汗、サンマ、鮭料理其の他と盛り沢山の物を食べましたが、中でも稲きびご飯が一番で、幾十年ぶりで食べました。懐しい故郷の味でした。

その後 家に入りカラオケの時間となりましたが「自称」中学生のA子さんB子さんのペアでの歌いっぷりに演歌も影が薄くなりました。手ぶり身ぶりのアクションに満場拍手大喝采で誠に楽しい一日でした。帰りは車で送って頂き誠に有難う御座居ました。又ボランティアの方々、役員の皆様方に厚く御礼申し上げます。本当に楽しい一日でした。

第4回 クリスマスパーティ開催す

今年は当初予定していた人数を大巾に  
上回り 105名の参加者があり、急拠  
前回までの集会室を変更して、保健センタ  
のご好意で広い会場を使わせていただき  
ました。お陰様でゆったりと楽しいクリスマス  
パーティを開催することが出来ました。来賓と  
して役場民生課吉井課長、保健センター丸山所長  
春木保健婦係長、社会福祉協議会の田畑さん  
が参加して下さいました。大谷短大生2人による  
司会進行でゲーム、合唱、抽選会が行なわれ  
コーヒークッキーは無料で甘酒も配られました。  
ご協力頂きました多くの方々により御礼申し上げます

４回 クリスマスパーティ 感想ハガキより

河村 美由紀

とても楽しかったです  
去年より規模も大きくなり、内容も良かったです。  
ゲームでは“サンタがやってきた”が  
良かったと思いました。少しずつでも皆で  
動くことができるゲームには熱も入りやすい  
です。その他、受付からネームまで細かな  
点、手が混んでいて感心しました。  
司会の二人、相変わらず良かったです。  
進行がとてもおもしろかった。また、おもしろい  
学生ボランティアが来るといいですね。  
実行委員の皆様 おつかれ様でした。  
今後の活動も期待しています。

小竹 サキ子

一日昨日はボランティアのお方々には大変お世話  
になりました。

此の度、私 初にお仲間させて頂き  
皆様方も生々と頑張っておられる姿に、  
私をはじめうれしく思いました。  
又此の次の集いにも是非顔をあわせて  
はげましあいたいです

## 丸山信之保健センター所長

久しぶりに賑やかな一時を楽しく過ごす  
ことができてありがとうございました。

周囲をぐるりと見まわしますと明るい表情  
の人も暗そうに見える人も、みんなこのクリスマス  
パーティに興じておられ、共感のもてるパーティ  
だったと思います。小生、このセンターに参りまし  
て7ヶ月が過ぎましたが、あらためていろいろな  
勉強をしているところですので、なにかと及ば  
ないこと多々あると思います。

皆さんの為にかんばりを期待しています

## 菊池 美代子

クリスマスパーティ参加させていただき、ありが  
とうございました。小さな子から体の不自由な  
80文をこえたおばあちゃん、それにボランティアの  
人達、たくさんの人達との出逢いの中で「楽しさ」  
というより心の温かさを感じました。

会場作り、参加者への心くばり、ネームーフでも  
丁寧に作られパーティの内容も楽しく、きっと  
時間も、お金もかかったことと思います。

初めて会った人たちとの会話が、私自身の  
世界(心)の狭さに気が付きました。又この  
ような機会があったら、ほんの少しの勇気を持って  
参加できたらいいと思います。

## 樋口ヒサエ

十勝晴の午后ノ時大変楽しく過ごさせて  
いただきまして ありがとうございます。

ボランティアの方々の大変行届いた おもてな  
し 心より感謝申し上げます。八十路をむかえ  
人様の御心切 本当に身にしみて有難く、出席  
させていただき 嬉しゅうございました。  
ありがとうございます。

## 佐藤時重

本年もなんれん音更支部主催のクリスマス  
パーティに出席させて頂きましたが、今回は人数も  
百名程との事で最高の幕明けとなり、催し物も  
多彩でしたが、何と言ってもサンタの仮装ゲームが  
一番でした。田畑さん迄サンタになって下さり、  
又保健センターの戸長さんも何かと手伝って下さ  
いました。

又、町民生課々長の吉井様が最後まで実に  
楽しそうだったのが印象的でした。尚 特筆もの  
は大谷短大生コンビの司会でフロ顔負けでした。

最後は青年合唱団と一諸に楽しく唱わせ  
頂き、実に楽しい半日でした。来年が楽しみです。

尚役員の方々、ボランティアの方々には大変お世話  
になり、又 多数の方々にご多額の寄付を頂きました  
事を厚く御礼致しますと共に皆様の御健康

ならびに御多幸をお祈り致し、なんれん音更支部の益々の御発展を願ひまして筆を置きます。

平成7年度特定疾患医療受給者証の  
継続交付申請が始まりました

◎申請期限は 2月20日まで

◎早めに申請を

◎不明な点などありましたら

帯広保健所予防課予防係まで連絡を  
(TEL 0155-24-3111 内線716)

帯広ライオンズクラブ様より 北海道難病連  
を廻じて 20000円のご寄付いただきました  
厚く御礼申し上げます

### 訃報

今年度より音更支部の役員を引き受けていただ  
いていました 前野竹夫さん(パーキンソン病)が12月  
13日に急性心不全にて他界されました。クリ  
スマスパーティには元気な姿で参加していました。  
故前野さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます

## 兵庫県南部地震の募金について

- ① 音更支部へ持参していただくか
- ② 何人で直接、北海道難病連の郵便口座へ送金していただくか。

どちらでもかまいません

ご協力をよろしくお願ひします

メ切は2月15日迄です

インフルエンザが北海道にも上陸してきました  
こんな時に病院へ行くのはためらわれますが  
治療を休むわけにはいきません  
どうぞ予防に万全を期して、難病患者に  
とつての大敵から我身を守りましょう

会員・家族の皆様

今年もよろしくお願ひ致します

役員一同

---

—HSK・なんれん おとふけ—

編集人 (財)北海道難病連音更支部 穀内 さかえ  
音更町

昭和48年1月13日第3種郵便物認可

1995年 2月10日発行 HSK通巻275号

発行人 北海道身体障害者定期刊行物協会 細川 久美子  
札幌市中央区北9条西19丁目

---